フロドルフの日記

1.

ソルスセイムにたどり着いた。そして浜に近い丘の上にある古い家に入った。以前ここに住んでいたのが誰にしろ、とうの昔にいなくなっていた。

2.

ここからは海の中まで良く見えるし、背後や周囲の物音も全部聞き取れる。夜は森の中をダンマーの山賊がうろついているが、彼らの事は恐ろしくない。

5.

深いところから呼ぶ声がする。夜になると低いうなり声が歌いかけてくる。地下室でナイフを傍らに置いて眠るようになった。呼び声はこの地下室にいる時が一番大きい。何が来ても大丈夫なように、備えておくつもりだ…

6.

まるで大きな機械が私の下で鳴り響いているようだ

10.

下で呼んでいる者が姿を表すのを待つのはうんざり

町まで歩いて行った。掘るための道具をいくつか買った。シャベル、シャベル、つるはし最初に本棚の後ろの壁を破壊。下に向かって掘るゆっくり掘り終えてから本棚を元の場所に戻すなぜ？お客がいる訳でもないのにでも何か隠したいものがある気がする

13.

どうやったら私が耳にしたものをビョルンに聞かせる事ができる？彼を失うわけにはいかないでももうじき真実を知る事ができるのにここを離れる事もできない

23.

地中のつぶやきそして私 私たち話す私地面に頭をつける

51.

深淵からの火

フロドルフの日記

FormId	dragonborn.esm:028FAF
Owning plugin	dragonborn.esm
Local FormId	028FAF
Editor ID	DLC2HrodulfJournal
Inventory image	(none)
Menu art	HighPolyJournal02
Value (gold)	10
Type	Book or tome
Weight	1
Can be taken	Yes
Teaches	(none)
Inventory description	(none)
Keywords	VendorItemBook
Locations	2
Leveled lists	0
Scripts	0

© Bethesda Softworks LLC and the authors of the mods in the load order.
Exported and generated with SkyrimSourceExporter.